

各種制度・待遇等 手厚い制度野待遇で働くキミをバックアップ！

■ 初任給、その他の手当等 (令和8年4月1日現在)

職員の給与は、大別すると、[給料]と[諸手当]に区分されます。その内容は次のとおりです。

● 給与

初任給は右表のとおりですが、採用前の学歴・経験に応じて、一定の基準により加算されることがあります。

区分	初任給
I種	239,300円 (全職種)
II種	224,100円 (技術系職種で試験研究機関に配属された場合)
III種	208,000円 (全職種)

● 諸手当

採用された職員や勤務の状況に応じて、扶養手当、通勤手当、住居手当、超過勤務手当、期末・勤勉手当(6月と12月)などの諸手当が支給されます。

■ 主な休暇

休暇の種類	取得できる日数等
年次休暇	採用の年 : 15日(4月採用の場合) 2年目以降 : 20日
病気休暇	3か月以内 (ただし、生活習慣病などは6か月以内)
夏季休暇	6月から10月までに5日間
結婚休暇	7日以内
キャリアアップ休暇	勤続15年 : 3日以内 勤続25年 : 5日以内

■ 研修制度

- 基本研修
- 職場研修(OJT)
- 選択研修
- 派遣研修
- 自己啓発支援制度

■ 福利厚生

- 岩手県職員互助会
- 県庁内保育施設(うちまる保育園)
- 職員公舎

● 出産・育児に関する主な休暇

- 産前・産後休暇
- 育児休業
- 男性職員の育児参加休暇
- 保育時間
- 子等の看護休暇

県職員を支える  
充実のバックアップ体制

さらに詳しい情報はHPをチェックしてください



申込みから採用までの流れ



岩手県職員採用試験の申込み等について

■ 受験案内の入手方法

岩手県職員募集案内ホームページの「受験案内」からダウンロードしてください。  
※受験案内は、4月上旬までに公表予定です。

<https://www2.pref.iwate.jp/~hp0741/annai/index.html>



■ 受験申込方法

岩手県電子申請・届出サービス

以下のURLから「岩手県電子申請・届出サービス」にアクセスし、申込手続を行ってください。

<https://s-kantan.jp/pref-iwate-u/>



岩手県建築職員確保対策チーム  
(岩手県県土整備部建築住宅課)

TEL: 019-629-5933  
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 8階

本パンフレットは、  
下記よりダウンロードができます。  
<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kendoseibi/gaiyou/index.html>



説明会情報や過去のセミナー情報はホームページからご確認ください。また、X(旧Twitter)でも随時情報を発信しています。



いわての建築を、  
未来を、  
創造しよう。



岩手県建築職  
採用案内  
パンフレット

建築職って、

どんな仕事をするの？

どんなふうにいるの？

あなたの「知りたい」を

「やりたい」に。

さあ、一緒に

岩手の未来を創造しよう。

## contents

### 01 建築職の仕事について

いわてを支える組織と仕事

主な配属先一覧

業務紹介

### 02 建築職員の声

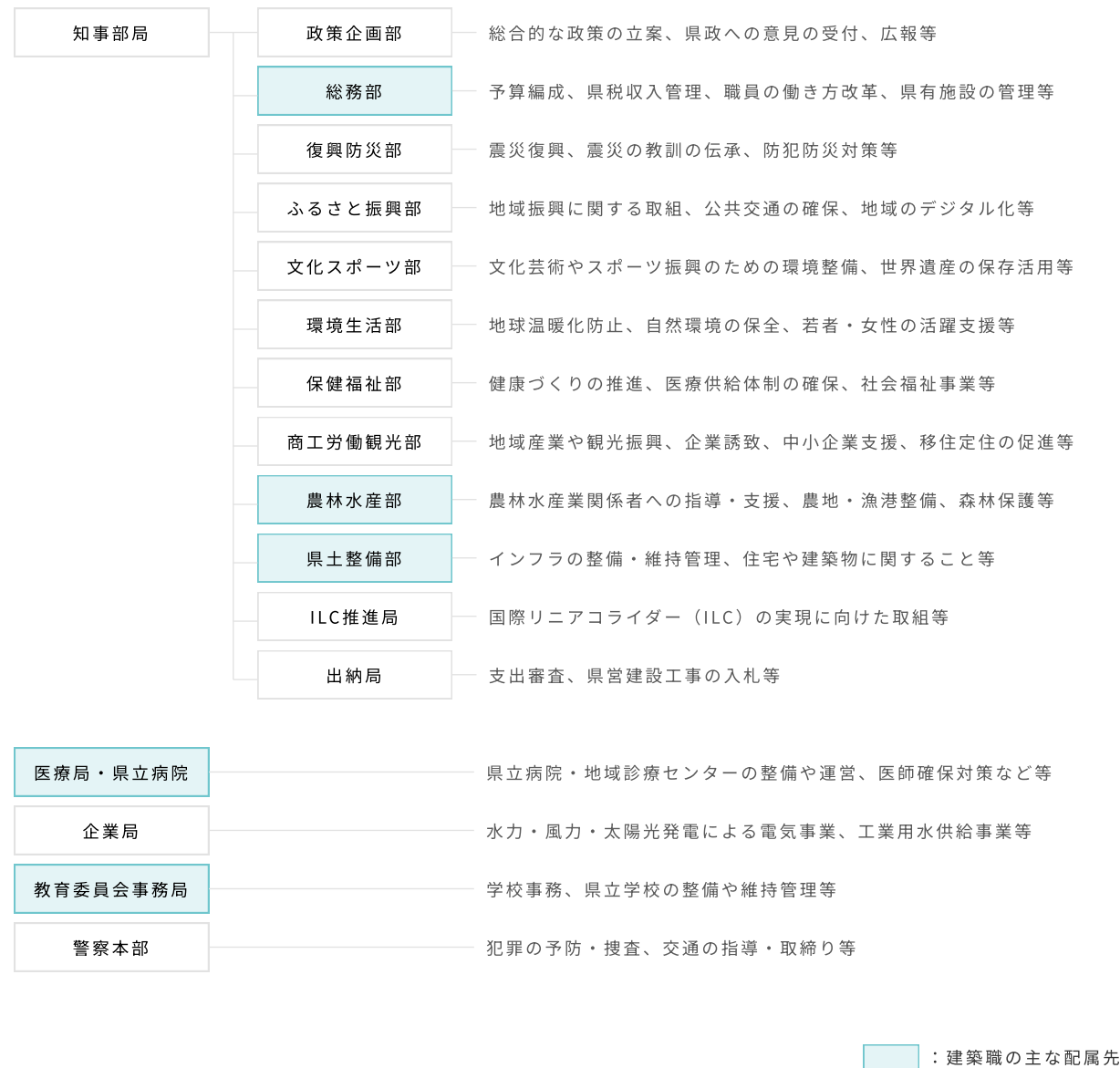
### 03 建築公務員の魅力



## いわての建築を創り、守り、支える仕事

### いわてを支える組織と仕事

令和5年12月時点



いわてを支える組織と仕事

詳しくはこちらから →



### 主な配属先一覧

※ 建築職員の配属先は、希望や適性を踏まえた上で決定されます

#### 建築関係職員の配属先と役割

#### ● 本庁

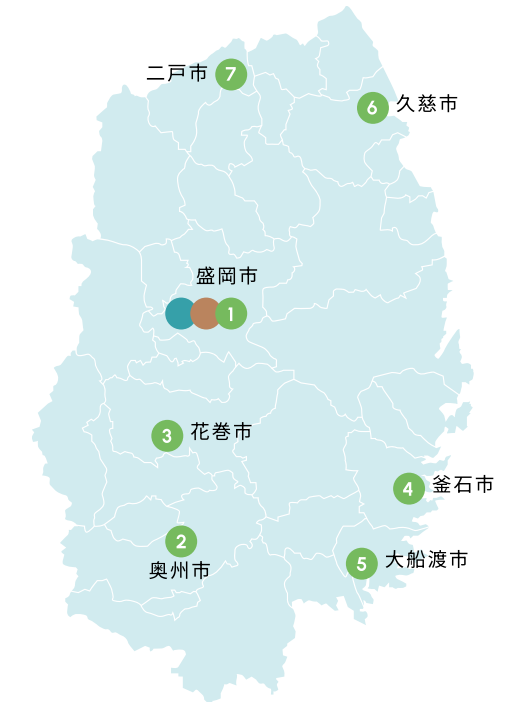
- 県全体のとりまとめ
- 建築・住宅施策の企画・推進
- 国との連携
- 予算要求
- 工事の設計、発注
- 県有施設の保全

#### ● 広域振興局

- 建築指導
- 工事監理
- 県有施設の管理
- 市町村との連携

#### ● その他

- 工事の設計、発注
- 工事監理



### 主な配属先一覧

#### 本庁

県土整備部	建築住宅課 (建築・住宅施策の企画・推進、工事の設計・監理等)	建設技術振興課 (建築工事の品質を確保するための各種基準の策定等)
	都市計画課 (市街地の活性化、歴史的な景観に配慮した街づくり)	県土整備企画室 (県土整備行政の企画調整等)
農林水産部	林業振興課 (県産木材の需要拡大や木質バイオマスの利用拡大等の推進等)	
総務部	管財課 (県庁舎、地区合同庁舎等の維持保全等)	

#### 広域振興局

盛岡広域振興局土木部	沿岸広域振興局土木部	その他
1 本局(盛岡市)	4 本局(釜石市) 5 大船渡土木センター(大船渡市)	
県南広域振興局土木部	県北広域振興局土木部	
2 本局(奥州市) 3 花巻土木センター(花巻市)	6 本局(久慈市) 7 二戸土木センター(二戸市)	

教育委員会  
(教育施設の工事設計、発注、監理、施設の保全)

医療局  
(県立病院の工事設計、発注、監理、施設の保全)

# 営繕 行政

Repairs Administration

## 公共建築物の整備及び保全

関係のある配属先： **建築住宅課** **建設技術振興課** **管財課** **教育委員会** **医療局**

01  
JOB DESCRIPTION

### 公共建築物の設計・工事監督

職員が働く庁舎、県立病院、県立学校や教育施設など数多くの公共建築物があります。計画段階から施設所管部局と調整を行いながら、新築・改修などの工事の設計・工事監督業務を行っています。

02  
JOB DESCRIPTION

### 公共建築物のマネジメント

建築物は建設して終わりではありません。公共施設の利用者が、より快適、より長く使われるように、整備した後も維持管理・保全や長寿命化対策に取り組んでいます。



# 住宅 行政

Housing Administration

## 誰もが安心して暮らせる住環境整備の推進

関係のある配属先： **建築住宅課** **各広域振興局土木部** **林業振興課**

01  
JOB DESCRIPTION

### 持続可能なグリーン社会の実現に向けた取組

地球温暖化対策のためのグリーン社会の実現には、建築物の高断熱化による省エネ対策や県産木材の利用が必要です。県では、快適で健康な生活を実現し、岩手の気候、歴史や文化に根差した住宅を普及するため、「岩手型住宅ガイドライン」の普及に取り組んでいます。

02  
JOB DESCRIPTION

### 岩手県産材

岩手県は、本州一の森林面積を誇る森林県です。県では、県産木材を構造や内装に使用した岩手型住宅の普及に取り組んでいます。その他にも、県産木材を活用した非住宅建築の普及や庁内の木質化等にも取り組んでいます。



# 建築 行政

Architectural Administration

## 建築物の安心安全の確保

関係のある配属先： **建築住宅課** **各広域振興局土木部**

01  
JOB DESCRIPTION

### 建築物に関する法令に基づく審査事務

地震や火災等に対して安全か、利用者が健康に過ごせるか、日照、交通など周辺に与える環境が配慮されているかなどの基準を満たしているか確認しています。

02  
JOB DESCRIPTION

### 既存建築物の安全性の向上

大規模地震等の災害に備え、耐震性能が不足している住宅・建築物への補助や小学校への耐震の出前事業などに取り組んでいます。また、がけ地や土砂災害のおそれのある場所に建てられている住宅の移転に対する支援などを行っています。

03  
JOB DESCRIPTION

### 建築物のバリアフリー・ユニバーサルデザイン

岩手県では、すべての人があらゆる活動に参加する機会が保障される地域社会づくりを目指しています。建築分野では、多くの人が利用する施設について、安全・円滑に利用できるよう、基準への適合確認等を行っています。



# まちづくり 行政

Town Development Administration

## 魅力あるまちづくりの推進

関係のある配属先： **都市計画課** **建築住宅課**

01  
JOB DESCRIPTION

### 空き家対策

岩手県の住宅のうち17.3%が空き家と言われており、防災・防犯・衛生・景観上の面で問題が危惧されます。一方で、空き家には資源としての価値もあります。県では、空き家の防止・管理・活用策や地域の魅力を高め、地域を活性化するリノベーションまちづくりの促進に取り組んでいます。

02  
JOB DESCRIPTION

### 快適で魅力あるまちづくりの推進

岩手県には自然との共生や歴史や文化が感じられる景観が数多くあります。県は、地域住民やNPO、市町村等と協働して、地域の魅力の再発見やその価値を高める活動、小中学生に対する景観学習によって未来の担い手育成を支援しています。



### 東日本大震災津波における建築職員の対応

東日本大震災時において、建築職員は全国各地から応援や支援をいただきながら、応急仮設住宅(全13,984戸)の建設や災害公営住宅の整備、沿岸地域のまちづくりの指針となる「ふるさと景観再生の手引き」の策定など、復興に大きく貢献しました。

災害時は自治体間の助け合いが重要です。平成28年熊本地震や令和6年能登半島地震では、岩手県からも建築職員を派遣しており、現在も石川県鳳珠郡穴水町において災害公営住宅の建設業務に携わっています。



# 01 CAREER STORY



## 立花 莉乃

Rino Tachibana

技師 / 入庁6年目

[採用から現在まで]

令和3～5年度 北上土木センター

令和6年度～ 県土整備部建築住宅課

### Q1 現在の仕事のやりがいや魅力を教えてください。

私は現在、県の所有する学校などの、スケールの大きい建物の新築や改修工事の監督業務をしており、多くの人が利用する施設をつくりあげていくことにやりがいを感じています。

また、住民の方々から、直接感謝される機会は少ないですが、安心安全を守る仕事や、まちの未来を見据えた“コンセプト”をつくっていく立場は、公務員ならではの魅力だと思っています。

### Q2 建築職員同士や若手職員同士の交流の様子を教えてください。

建築女性職員の登山部があり、人生初登山に挑戦しました。山頂でお湯を沸かして食べるカップ麺が最高ですね。普段違う部署で働く人と行くので、悩んだ時に頼りになる人も増えました。

研修等で仲良くなった同年代の同僚と遊びに行くことも多く、こうした交流がいい気分転換になっています。

### Q3 県職員を志望する皆さんへメッセージをお願いします。

岩手県には建築を専門に学べる4年制大学がありません。建築に興味があり、県外で学んできた皆さんは岩手県にとって、貴重な存在です。

また、県内で建築に携わりたいと考える高校生の皆さん。これまでは主に就職か県外に進学するしかありませんでしたが、令和6年度からIII種試験という新しい選択肢ができました。

ぜひ、岩手県の建築職員になって、一緒に岩手県を盛り上げて行きませんか？



## 岩手県庁OB・OG職員への訪問を受け付けています

岩手県職員への採用を希望する学生の皆様に、OB・OG職員（同じ大学等を卒業又は修了し県職員として任用されている者）が面会を通じて業務内容、職場内の雰囲気、仕事のやりがいなどをお伝えします。



詳細は県HPへ

### 面会の概要

- 学生1名に対し、同じ性別のOB・OG職員1名が面会を行い、質問等に応じます。
- 面会は、開庁日のうち、9時から17時までの間に、原則、県庁舎での対面又はオンラインで実施しています。
- 1回当たり最長1時間としています。

### 留意事項

- OB・OG職員は、SNSやメールなどを用いて、学生の皆様に直接連絡するなど個人間での情報交換は行いません。
- OB・OG職員訪問の実施の有無は、職員採用の選考には一切影響しません。

### 申込方法等

面会を希望する方は、面会を希望する日の1週間前までに岩手県総務部人事課まで、メールで申込みをお願いします。総務部人事課から、日程や面会場所等を連絡します。

申込先メールアドレス	メールに記載する内容
ah0002@pref.iwate.jp	(1)氏名 (2)性別 (3)学校名 (4)希望する職種 (5)連絡先 (6)面会希望日時(第3希望まで) (7)面会時に聞きたい内容 (8)オンラインの希望の有無 (9)OB・OG職員に事前に伝えたい事項

### その他

- 同じ大学等を卒業又は終了した職員がいない場合等の事情により、別の大学等を卒業（修了）した職員が面会する場合がありますが、あらかじめ御了承をお願いします。
- ご不明な点は、岩手県総務部人事課（mail：ah0002@pref.iwate.jp、電話：019-629-5072）までお問い合わせください。

## 数字で見る、ワーク・ライフ・バランス

年次休暇平均取得率  
(年間20日分支給)

15.0日

時間単位での取得も可能！  
取得しなかった分は最大20日翌年に繰越できます

月間平均超過勤務時間数  
(令和6年度実績)

15.0時間

### か・えるの日運動

原則毎週水曜日を「定時退庁の日」とし、家庭での子育てや家事等を行う「か・えるの日」として県庁全体で定時退庁の呼びかけをしています。

入庁3年間の離職率  
(令和4年度採用者)

8.3%

参考 (※厚生労働省調べ)

- 新規高卒就職者の離職率 37.9%
- 新規大卒就職者の離職率 33.8%

育児休暇取得率 男性職員の取得率も上昇しています！  
(令和6年度実績)

女性 100% 男性 98.7%



### 高橋 健

Ken Takahashi

技師 / 入庁7年目

[採用から現在まで]

令和2～3年度	県土整備部建築住宅課
令和4～5年度	県南広域振興局土木部
令和6年度～	県土整備部建築住宅課

## Q1 現在の仕事のやりがいや魅力を教えてください。

現在の仕事は、公共建築物の工事の発注業務や設計・工事の監督業務を行っています。計画段階から関係部局と協議し、受注者と打合せを入念に行いながら、形が残るものを作るということにやりがいを感じます。

## Q2 岩手に帰ってきてよかったことを教えてください。

まず一番に感じることは、自然が豊かということです。釣りや花見、ウィンタースポーツなど四季折々のイベントを楽しむことができ、岩手にいるだけで心が安らぐ場所だと思います。他にも、人が優しい、食べ物が美味しい、広々としていて過ごしやすい・・・大学で県外に出たからこそ岩手の良さを強く感じています。

## Q3 県職員を志望する皆さんへメッセージをお願いします。

建築職が行う業務範囲は多岐に渡り、行政ならではの知識と経験を積むことができます。岩手県のまちづくりの推進や公共建築物の新築といった大きなプロジェクトに携わることができるやりがいのある仕事です。また、職場の先輩方は経験豊富な方たちが多く、仕事のことはもちろんのこと、建築の深い話まで聞くことができるので、自分自身のスキルアップを図ることができます。

岩手の建築をより良くするために、一緒に働けることを心よりお待ちしております。



## インターンシップ実習の受入れについて

本県では、平成12年度から各大学のご要望等も踏まえ、インターンシップ実習生の受入れを実施しています。

これまで、建築職でも、業務紹介のページに掲載した内容等に関する実習や、県が実施中の工事現場の見学、完成した建物の定期点検の様子や実例見学等を毎年実施してきました。

今後の予定につきましては、県ホームページにて随時発信していきます。



詳細は県HPへ

[トップページ](#) > [県政情報](#) > [人事情報](#) > [岩手県知事部局インターンシップ実習生の受け入れについて](#)

## インターンシップ実習体験談

高橋技師は、インターンシップ実習での経験を経て、岩手県の建築職員となりました。

当時のインターン実習の様子を、高橋技師に語ってもらいました。



話し手(写真左)：高橋技師(採用5年目)  
聞き手(写真右)：阿部主任(採用13年目)

### — インターンシップ実習を希望した経緯を教えてください。

高橋 もともと行政の仕事に興味があったということもありますが、漠然としていた建築職の業務内容を実際に体験したり、現役の職員の方から話を聞いたりすることで、仕事への理解を深めた上で受験したいと考えていたからです。

### — 当時はどのような実習を行いましたか。

高橋 実習を受けるにあたっては、自身が興味を持っていることや学んでみたいことを提出するのですが、私は、「住みやすいまちづくりを進めるための方法、住宅を整備・管理する方法、都市計画、建設工事の現場体験」と、幅広く学んでみたいことを提出しました。  
実際のインターンシップ実習では、事前に興味があった県のまちづくり行政や営繕行政に関する実習のほか、建築構造計算審査の実習、災害公営住宅の建設現場の見学等を行いました。



### — インターンシップ実習で印象に残っていることを教えてください。

高橋 実際に多種多様な建築職の業務を体験等することで、漠然としていたイメージが具体的なものになったという経験が印象に残っています。その他には、同じ大学出身の阿部さんとお話したことも覚えています。

阿部 私も当時のことを覚えています。私が担当している業務の概要や職場の様子等をお話ししましたよね。県では、OBOG訪問という制度もありますが、インターンシップ実習の機会にも、同じ大学を卒業又は修了した職員との面会時間を確保することも可能なので、ぜひ、学生の皆様には、インターンシップ実習への参加を御検討いただきたいです。

### — 最後に、これからインターンシップ実習への参加を検討している皆さんにメッセージをお願いします。

高橋 私もそうでしたが、建築行政の仕事内容は漠然としているかと思います。その漠然としたイメージを確実なイメージとするためには、インターンシップ制度は非常に有意義のあるものなので、行政の仕事に興味がある方は、ぜひインターンシップ実習の受講を検討してみてください。



**小野寺 皓紀**

Kouki Onodera

技師 / 入庁 6 年目

[採用から現在まで]

令和 3 ～ 5 年度 県北広域振興局土木部  
令和 6 年度～ 花巻土木センター

**Q1 岩手県職員を志望した理由を教えてください。**

もともとは工務店やハウスメーカーに入社しようと考えていましたが、公務員でも建築職を募集していることを知り、岩手県職員のセミナーに参加しました。建築のブースもあり、先輩から直接岩手県職員の建築職についてのお話を聞き、岩手県職員として岩手の建築業界に携わりたいと思うようになりました。

**Q2 現在の仕事のやりがいや魅力を教えてください。**

私自身が建物を設計したり、工事を直接したりするわけではないですが、建物の完了検査業務において問題なく検査が終了した際は特にやりがいを感じます。また、建築相談を受けることも多々あり、法文の解釈等難しい部分も多くありますが、それについて調べ、考え、答えることで自身の成長も感じられるところが魅力だと思います。

**Q3 県職員を志望する皆さんへメッセージをお願いします。**

岩手県職員の建築職の仕事は民間企業と比べたらイメージしにくいと思います。私も入庁当時はどんな仕事をするのかわかりませんでしたが、優しい先輩方や上司に教えてもらい、これまでの業務をこなしてきました。また、建物の審査・検査や岩手県が所有している建物の整備などの業務は建物を利用する県民の方々にとってもなくてはならないものです。一緒に岩手県の建築業界を支えてみませんか？



**岩手県公式動画チャンネルで建築職員の取組を紹介しています**

県では「いわて県民計画（2019～2028）」のもと、県民の幸福度向上を図る10の政策や新しい時代を切り拓くプロジェクトを着実に進めるとともに、人口減少社会への対応等に向けた取組を行っています。

この度、第2期アクションプランの最優先事項である「人口減少対策」の取組に携わる職員として、建築職員がインタビューを受けています。建築職の魅力が詰まった動画を、ぜひ御覧ください。



詳細は県HPへ

**PROJECT STORY**

いわての人口減少対策の  
取組に携わる岩手県職員へのインタビュー。



岩手県職員を目指す人へ  
県の建物の整備や建物の審査など



岩手県職員を目指す人へ  
なくてはならない存在です

**岩手県庁JOBモールオンラインセミナーについて**

「技術系職種の業務について、もっと詳しく知りたい」という方へ、経験を積んだ建築職の先輩職員が業務内容について説明を行います。建築職の仕事に興味がある方であれば、どなたでも参加可能です。（説明会情報は随時X（旧Twitter）でお知らせします）



詳細は県HPへ

**岩手県庁若手職員フリートークONLINEについて**

「各職種の採用から概ね10年以内の若手建築職員（技師級程度）と直接話ができる少人数のオンライントークを毎年2月頃に開催しています。「技術系職種の業務についてじっくり聞いてみたい」「職場の雰囲気はどうなんだろう」など、若手職員があなたの気になるギモンにお答えします。（説明会情報は随時X（旧Twitter）でお知らせします）



詳細は県HPへ



山崎 凌

Ryou Yamazaki  
主任 / 入庁10年目

[採用から現在まで]

平成29～令和元年度 沿岸広域振興局土木部  
令和元～5年度 教育委員会事務局  
令和6年度～ 県土整備部建築住宅課

Q1 岩手県職員を志望した理由を教えてください。

建築分野に興味があり大学では専攻して学んでいました。就職活動時に様々な道がある建築分野の中から、公共工事や住宅施策等、県職員でしか携われない業務を通して岩手県の為に尽力したいと思い志望しました。

Q2 岩手に帰ってきてよかったことは。

生まれ育った地で安心して生活ができています。豊かな自然とそれを活かした海や山の新鮮な食材が手に入るのも魅力的です。県内で家庭をもち、改めて地域密着型ののびのびとした子育てが出来る点も良い点だと感じています。

Q2 仕事とプライベートをどのように両立させていますか。

看護休暇や1時間単位の有給を取得し、予測しづらい子どもの体調不良や、家族サービスに気持ちよく時間を費やしています。結果的に、家庭円満・精神的な安定に繋がり、適宜切り替えながら効率よく仕事に取り組む環境を整えられています。

Q3 県職員を志望する皆さんへメッセージをお願いします。

建築職は県全体で見ると少数ですが、建築行政は業務が多岐にわたるので一人一人がやりがいをもって仕事に取り組む事が出来ます。皆さんと一緒に仕事出来る日を楽しみにしています。



育児休業制度

子どもが3歳になるまでは、男性・女性ともに取得できます。令和4年度は、女性100%、男性78.8%が取得しました。（知事部局等）

育児休業の活用例

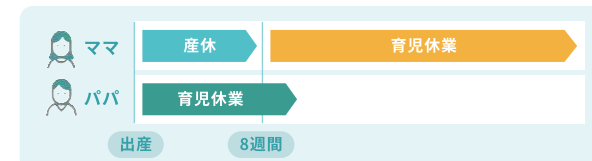
バトンタッチ型 妻の復帰と入れ替わりで取得



引継ぎ型 妻の復帰に合わせて一定の期間をかぶせて取得



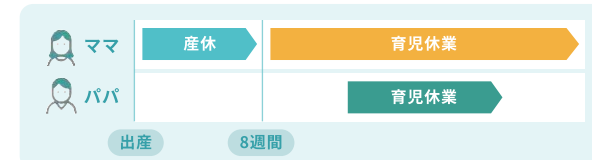
産後サポート型 妻の産後をしっかりサポートするために出産に合わせて取得



産後サポート併用型 妻の産後&復帰をサポートするために2回に分けて取得



期間内取得型 妻と一緒に育児をサポート仕事のタイミングに合わせて取得



妻サポート型 妻が働いていなくても産後と育児をサポート家庭の事情にタイミングに合わせて取得



出産・子育てをサポートする制度

制度	内容・利用期間等
産後パパ育児休業	出生から8週間までの育児休業
配偶者出産休暇	妻の出産の付添い等
男性職員の育児休暇	妻が出産する場合の出産に係る子又は9歳までの子の養育
育児休業	3歳になるまでの間の育児休業
育児短時間勤務・部分休業	小学校就学の始期に達するまでの子の養育のための勤務時間短縮
育児時間	1歳6カ月までの子の保育
子等の看護休暇	22歳までの子、配偶者、父母等の看護
乳幼児の介助休暇	小学校就学の始期に達するまでの子の予防接種や健康診断等の介助
育児をする職員の業務負担軽減	深夜勤務等の制限
早出・遅出勤務、時差通勤、フレックスタイム制度	始業・終業時刻の変更などの勤務時間の調整



# 05

CAREER STORY

## 青柳 成幸

Shigeyuki Aoyagi

主任 / 入庁12年目

[採用から現在まで]

平成27～28年度 県土整備部建築住宅課  
平成29～令和元年度 二戸土木センター  
令和2～3年度 県土整備部建築住宅課  
令和4～6年度 農林水産部林業振興課

令和7年度 宮古土木センター  
令和8年度～ 花巻土木センター

### Q1 県職員のイメージについて入庁前と入庁後で違っていたことを教えてください。

建築職は技術職ではありますが、それ以前に「公務員」であるため、建築に係る業務でも予算要望や施策の検討・実施、議会の対応など、技術的な業務以外の業務にも対応しなければなりません。入庁前は、建築の知識があれば良いと思っていましたが、建築以外の知識も必要であり、どれも大学では教わらなかったことなので、覚えることが多く大変だと感じました。しかし、周りの先輩や上司からのフォローが手厚いことも入庁前のイメージとはいい意味で違っていましたし、新しい知識を身に着けるために学んでいく姿勢を持つこと、知識や技能が身についていくことを楽しむことで、前向きに楽しく業務に当たることができると感じます。

### Q2 仕事とプライベートをどのように両立させていますか。

基本的には土日が休みなので、平日は仕事、土日はプライベートの時間に当てており、災害対応等、突発的な業務以外では、プライベートの予定が立てやすいと感じます。休日の過ごし方としては県職員の有志で構成される岩手県庁サッカー部に所属しており、大会やリーグ戦などに参加して、仲間と共に休日を楽しんでいます。

また、夏季休暇などの休暇制度も充実しており、遠方への旅行や岩手県内の温泉巡りなど、心身共にリフレッシュできる環境が整っています。

### Q3 県職員を志望する皆さんへメッセージをお願いします。

岩手県は、本州一の面積を持つ大きな県です。一つの県の中でも、それぞれの地域に建つ建築物には、様々な特色があり、地域の人々の暮らしを豊かにする役割も担っています。建築職は、建築という側面から、人々の暮らしを豊かにする一部分を担う仕事です。学ぶことは多く、常に責任もついて回りますが、「建築」と「岩手」が好きな人にはぴったりな仕事だと思います。皆さんと一緒に働けることをお待ちしております。



## 研修制度 [能力を高めるスキルアップ制度]

多様化する県民ニーズに対応し、より質の高い県民本位のサービスを提供していくため、さらには、グリーン社会やデジタル化の推進など、限られた人員で高度化する行政課題に対応するためには、政策形成能力と高い専門性を兼ね備えた職員育成が不可欠です。

岩手県では、研修等を通じて、職員一人ひとりの「業務遂行能力」「政策形成能力」「合意形成能力」「組織運営能力」「自己開発力」の向上を図るとともに、建築職員に対しては広い視野と専門性の向上を意識した資格取得支援等の取組を重層的に進めています。

### 基本研修

採用初年度に「新採用職員研修」、採用3年目には、「採用3年目職員研修」があります。また、採用5年目または9年目には、キャリアデザインの設計や政策形成能力の向上を図る「中堅職員研修」があります。その後は、昇任の都度、「新任研修」があります。

### 職場研修

日常の仕事を通して行う、いわゆるOJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）を行っています。なお、本県では、職場環境や業務にできるだけ早く慣れるように、所属ごとに指導担当者などを定め、新採用職員の指導や助言を行っています。

### 選択研修

政策法務、交渉力向上、ファシリテーションスキルなどの研修があり、本人の希望に応じて受講できます。

### 派遣研修

自治大学校（東京都）や東北自治研修所（宮城県）への派遣研修、国の省庁、民間企業への派遣（実務研修）、大学院への派遣研修などのほか、海外への派遣、他都道府県や県内市町村への派遣（人事交流）もあります。

### 自己啓発支援制度

能力向上を図るため、職員の自己啓発経費の1/2（上限あり）を支援する制度です。

民間の教育機関が提供する通信講座の受講、政策形成能力を養成する大学院（修士課程）への修学支援のほか、パソコンスキルや語学、土木施工管理技士・公認心理師などの専門性を高める資格の取得を支援しています。

### 資格取得研修

一級建築士、建築基準適合性判定資格を早期取得するための内部研修及び資格取得費用の一部助成を行っています。

## 福利厚生 [職務に専念するための多彩なサポート]

### 岩手県職員互助会

職員の福祉の増進と行政の円滑かつ能率的な運営に資することを目的に、「キャリアアップ支援交付金」「育児支援交付金」「会員療養給付金」など、さまざまな給付事業を行っています。

### 県庁内保育施設（うちまる保育園）

0歳児から2歳児を対象とした県庁内保育施設を開設しています。都道府県職員の事業所内保育施設では、東北初の認可保育施設で、保育園に通いながら母乳育児を可能とするなど、特徴のある保育施設です。

### 職員公舎

世帯用、単身赴任者用、独身者用の職員公舎が県内各地区に整備されています。

# 06

CAREER STORY



**千葉 賀子**  
Noriko Chiba  
主任 / 入庁13年目

[採用から現在まで]  
平成26～27年度 県土整備部建築住宅課  
平成28～30年度 北上土木センター  
令和元～3年度 一関土木センター  
令和4年度～ 県土整備部都市計画課

### Q1 現在の仕事のやりがいや魅力を教えてください。

私は現在、景観や屋外広告物、市街地再開発等のまちづくりに係る業務を担当しています。岩手県の貴重な財産である素晴らしい景観を保全していくためのルールの策定や地域の住民が景観を通じて地域に愛着をもつための取り組みの推進、また今ある都市を安全・安心な魅力ある都市へと再生する都市再開発の法定認可や市町村への支援を通して、その地域に住む人、またその地域を訪れる人にとって魅力あふれるまちづくりを手助けできることにやりがいを感じています。

### Q2 職場の様子を教えてください。

私が所属している都市計画課は全体で二十数名の部署で、事務職、土木職、建築職の職員で構成されています。来客が多い部署ではないので騒々しい雰囲気はなく、皆さん自分の業務に集中しつつも、他職員との連携を大事にしながら職務に取り組んでいます。職務以外にも課内や担当内で定期的に親睦会を開催しており、他職員とコミュニケーションを深めるいい機会になっています。

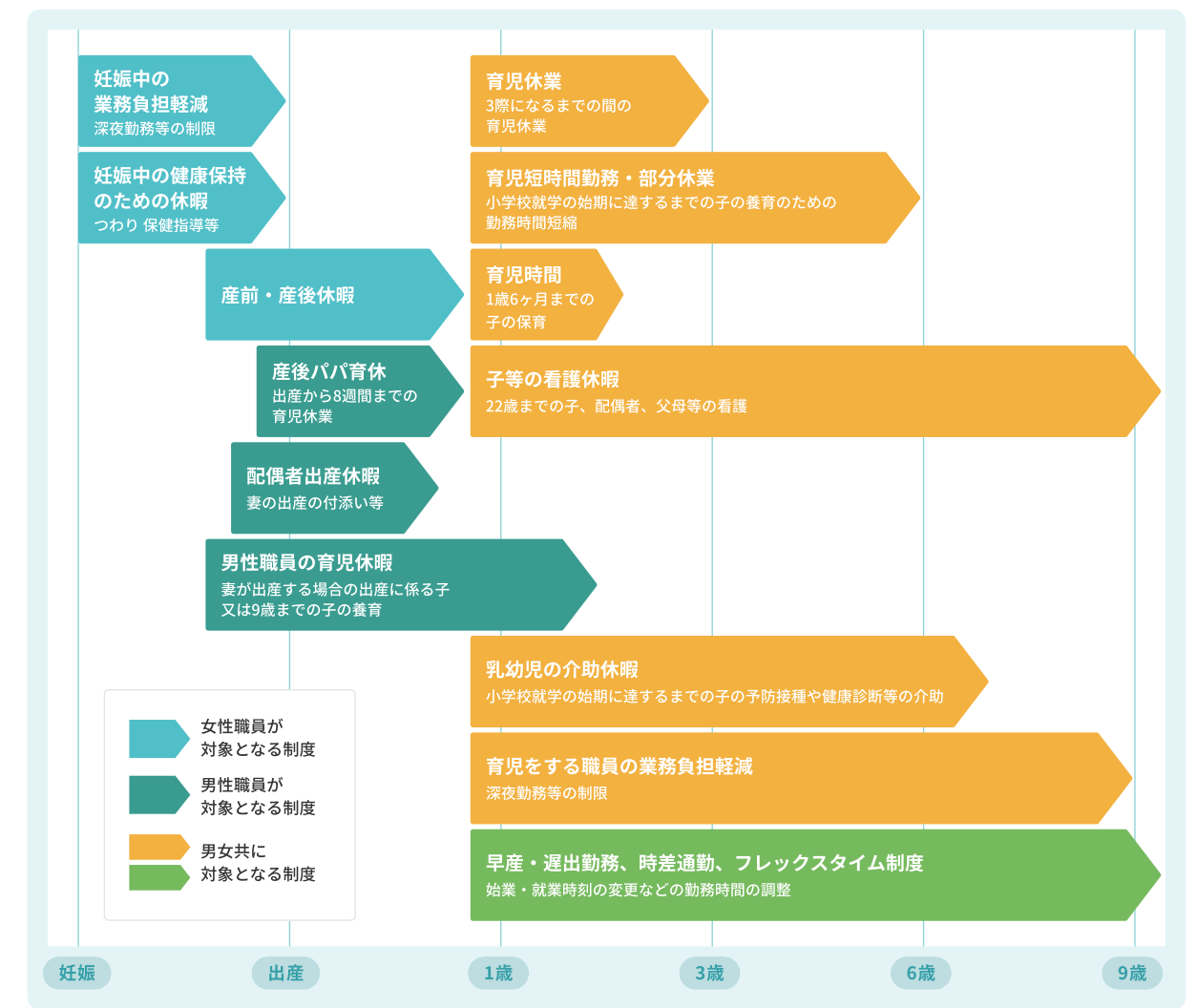
### Q3 県職員を志望する皆さんへメッセージをお願いします。

県職員は、住宅の施策に関することや建築物の審査、県営建築物の計画・監理といった建築に関わる部署以外にも、まちづくり等を行う都市計画の部署や木材利用促進等を行う農林の部署など、多様な角度から建築に携わることができます。また、福利厚生も充実しており、趣味や家庭などのプライベートと仕事の両立を図ることができるのはとても魅力的だと思います。一緒に仕事をできることを楽しみにお待ちしております。



## 仕事と家庭の両立のための制度

県では、結婚、出産は個人の決定に基づくものであることを基本としつつ、地域社会全体で子育てする方々や子どもを温かく見守る環境づくりに取り組む機運を醸成するため、「いわてで生み育てる県民運動」を推進しています。岩手県職員が活用できる主な制度は次のとおりです。



### 育休取得体験談 - 千葉主任にお話を伺いました -

育休を約1年取得しましたが、希望通りの期間、育休を取得し子供と過ごすことができたこと、また、生活面でも育休中は給与のかわりに経済的支援として手当が支給されることがとても有難かったと感じています。復職後の働き方も育児のための部分休業や育児短時間勤務等、それぞれの家庭にあった形態を選択することができ、私自身も、勤務時間帯の変更及び特別休暇の取得により、夕方に家庭の時間を作ることができています。育休に関する制度があることだけでなく、制度を活用することについても支援及び理解がある職場なので、有難いなと思っています。



# 07

CAREER STORY



**高杉 諭吏**  
Satori Sasaki  
課長 / 入庁19年目

[採用から現在まで]

平成20～22年度	盛岡地方振興局土木部	令和2～3年度	盛岡広域振興局土木部
平成23年4月～9月	県土整備部建築住宅課	令和4年度	県土整備部建築住宅課
平成23年10月～3月	陸前高田市派遣	令和5年度	盛岡広域振興局土木部
平成24～25年度	県土整備部建築住宅課	令和6年度	花巻土木センター
平成26～28年度	岩泉土木センター	令和7年度～	大船渡土木センター
平成29～令和元年度	県土整備部建築住宅課		

### Q1 現在の仕事のやりがいや魅力を教えてください。

大船渡は震災のみならず、平成以降国内最大とされる大規模林野火災に見舞われ、赴任直後から、応急仮設住宅の整備に始まり、現在は住宅や産業関連施設の復旧復興に向けた相談、申請事務に従事しています。また少し前には、県外の高校生に対し東日本大震災の復興の経験を伝える機会を頂きました。大規模な災害は起こらないに越したことはありませんが、起こってしまった災害とその復旧復興に広く携わることができるのは、公務員建築職としてのやりがいを感じます。

### Q2 仕事とプライベートをどのように両立させていますか。

仕事は忙しいときは本当に忙しいですが、そんな中でもちょっとしたすき間時間に自分が好きと思えることをやることで、ストレス解消になると思っています。私の場合は、建築の中でも建築史専攻だったこともあり、建物を見に行くことや、今であればSNSで見たり自分でもアップしたりすることが気晴らしです。あとは、飲食、そして寝ることです。よく食べ飲んでよく寝ることは、いい仕事にも直結しますね。

### Q3 県職員を志望する皆さんへメッセージをお願いします。

県の建築職であれば、地域のさまざまな建築に広く関わるができるばかりでなく、将来の住宅の建て方のトレンドを考えたり、災害に備えた活動を通じて直接人の役に立つ体験ができたりと、民間では得られない成長ができると思います。人と地域が好きな皆さんと、共に働けることを期待しています。

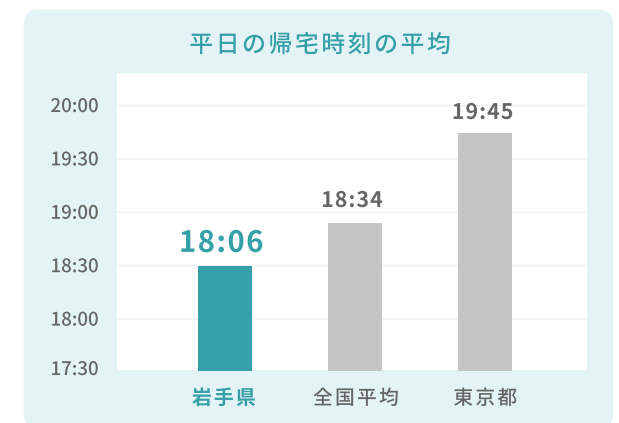
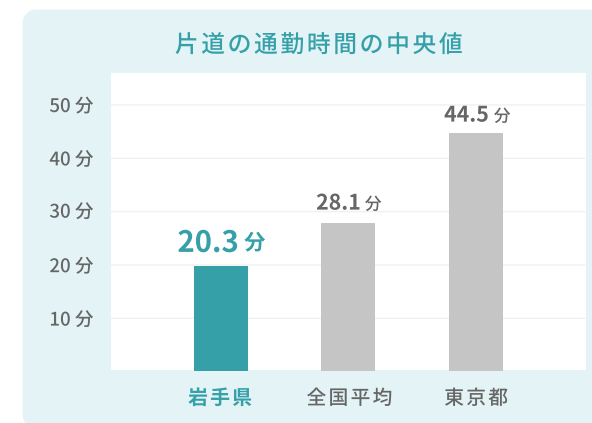


## 首都圏と比較した岩手県の暮らしやすさについて

岩手県は、全国平均や東京都のような首都圏に比べ、家賃、物価が安いと、趣味などにもお金を使うことができます。

制度	岩手県	全国平均	東京
大卒者初任給	215,100 円	228,500 円	239,200 円
家賃平均月額	39,850 円	55,609 円	80,918 円
消費者物価地域差指数 (全国平均: 100.0)	99.1	100.0	104.7

また、通勤時間が短い分、早く帰宅できるため、休日はもちろん平日にも家庭や趣味に多く時間を使うことができます。



## 岩手ってどんなところですか？高杉課長に聞いてみました。

Q：岩手出身ではない高杉課長からみて、岩手県はどんなところですか。

A：私自身他県の生まれ育ちで、岩手にはほとんど所縁はありませんでしたが、30代半ばで民間企業から転職しました。岩手の人は温かいし、食べるものもおいしいし、見どころもたくさんあります。最近では海外からの注目も高く、野球界の有名人も輩出するなど、とてもいい所だと思います。震災では全国の自治体職員が応援に来ましたが、岩手が好きになって未だに遊びに来てくれる人も多いですよ。



Q：転職って大変ではないですか。

A：公務員に限らず転職は、組織の適正な維持のため、あるいは特定の人に利権や負担が生じないようにするため、欠かせないものです。岩手県は広大であるがために、数年に一度の転職は冷や冷やもので、実際に異動となると短期間で荷物をまとめたり、その都度新たな職場環境に慣れなければならなかったりと簡単ではないですが、転職があることでまた新しい街を知ることができます。どこに転職しても盛岡から通うという人もいますが、私の場合は転職ごとに住まいも移すことで、より一層その街のお店や地元の人たちとの交流を楽しんでいます。





**佐々木 加奈枝**  
Kanae Sasaki  
課長 / 入庁27年目

[採用から現在まで]

平成9～11年度	盛岡地方振興局土木部	平成27～28年度	医療局経営管理課
平成12～14年度	県土整備部建築住宅課	平成29～30年度	北上土木センター
平成15～18年度	盛岡地方振興局土木部	令和元～3年度	農林水産部林業振興課
平成19～23年度	県土整備部建築住宅課	令和4～5年度	花巻土木センター
平成24～26年度	県土整備部建設技術振興課	令和6年度～	盛岡広域振興局土木部

**Q1 岩手県職員になって良かったと思うことを教えてください。**

市町村において街並みを整備する事業の創設、県産木材利用の推進、環境共生住宅を建設するなど、魅力あるまちづくりや先進的な取組みに携わったことです。

また、平成19年の新潟中越沖地震発生時には、被災建築物応急危険度判定士を派遣、岩手・宮城内陸地震時には応急仮設住宅を建設、東日本大震災時には、応急仮設住宅や災害公営住宅の建設、被災県立病院の再建に携わり、有事への対応や復興に貢献したことです。

**Q2 管理職として考えていることを教えてください。**

未来の岩手県、数十年後の岩手県が多様な魅力ある県になることを常に意識しています。

そのために、それを実現する多様な価値観を持った魅力ある県職員の育成が重要と考えています。職員に対し、仕事において、その個性や得意分野を生かすことや、建築技術者としてはもちろんですが、専門分野以外も含め、様々な経験や各種研修に参加するよう促しています。

**Q3 県職員を志望する皆さんへメッセージをお願いします。**

県の建築職の仕事は、まちづくり・景観、許認可、多くの県民が利用する公共施設の建設、他県での災害発生時の応援など多岐に渡っています。仕事の多くは後世に形に残る建築物に関わることであり、入庁前には考えていなかったような新しいことにもチャレンジできる職場です。ぜひ、一緒に、岩手県の魅力的な街並みや住みよいまちづくりをしましょう。



**女性職員の活躍支援と積極的な登用について**

本県の女性職員の活躍推進に向けては、あらゆる領域で女性職員が活躍できるよう、平成28年3月に「女性活躍推進のための特定事業主行動計画」を策定し、女性職員の育成や活躍に向けた取組を支援する職場づくりなどに取り組んでいます。

また、「いわて県民計画（2019-2028）」の「行政経営プラン」においても「女性職員の活躍支援と積極的な登用」を具体的な推進項目に掲げ、女性職員のキャリア形成支援や能力向上に取り組んでいます。

指標	現状値 令和3年	年度目標値			計画目標値 令和8年
		令和5年	令和6年	令和7年	
管理職（総括課長級以上） に占める女性職員の割合	9.5%	11.6%	13.2%	15.0%	15.0%
女性職員の キャリア形成支援	計画的な人事配置				
	女性職員キャリアデザイン研修、 女性職員リーダー研修等の実施・見直し（随時）				研修の実施・ 見直し（随時）
	女性職員研修の検証・見直し				
	職員活躍事例集の活用・見直し（随時）				
若手職員に対するメンター制度の活用					
女性活躍に向けた 職場環境づくり	ダイバーシティマネジメント研修の充実、実施				
	ダイバーシティマネジメント 研修の検証・見直し				研修の実施・ 見直し（随時）

**現役職員から業務内容や仕事のやりがい等を聞いてみませんか？**

各学校進路指導担当者の皆様へ

岩手県職員の建築職の魅力伝える取組として、学校や企業等が主催する合同説明会や就活セミナー等への参加を行っており、セミナー等への参加の機会を通じて、岩手県の建築職員の業務内容や職場の雰囲気、仕事のやりがい等をお伝えしています。

今後は引き続き、合同説明会等への参加を行うほか、直接学校へお伺いの上岩手県の建築職員の業務内容の紹介等を行うことも検討しています。進路指導を御担当する教職員の皆様におかれましては、ぜひ御検討のうえ、御連絡をお待ちしています。

問合せ先 DD0002@pref.iwate.jp  
岩手県人事委員会事務局職員課



# 公務員として働く魅力ってなんだろう？ そんな皆さんの疑問にお答えします。

## Q1

建築職の公務員の特徴は？

公共建築物の設計や工事監理、建築物の省エネ対策や県産木材の振興、快適で魅力ある街づくりの推進等、民間では経験出来ない仕事がたくさんあります。



## Q2

国や市町村と、県の仕事って何が違うの？

国は日本全体、市町村は住民に身近な業務を行います。県は、岩手県全体の未来のため、幅広い仕事で県民の暮らしを支えています。



## Q3

民間とは異なる仕事のやりがいは？

民間の場合は個々の会社の利益を上げることを通じて社会貢献を目指しますが、県の場合は「岩手のため」「県民のため」に仕事をすることが目的です。大きく言えば、一つひとつが県民の暮らしと未来につながるのが県の仕事です。

## Q4

転勤はあるの？  
転勤が多いと大変なのは？

確かに転勤はありますが、行ったことのない土地で暮らし（触れる、食べる、遊ぶ、体験する）、様々な人と触れあう体験を通じて、視野が広がり、自身のステップアップにもつながります。



## Q5

サポート体制はどうなっているの？

職務に専念するための多彩なサポートがあるほか、建築職員には、資格取得に向けた充実した研修制度もあります。（研修制度の詳細はP21参照）



## Q6

建築学科を卒業しないと建築職種の採用試験は受験できない？

学歴に関わらず受験が可能です。建築学科を専攻していない方も建築職員として活躍しています。令和6年度からは、第III種試験の募集も始まっています。

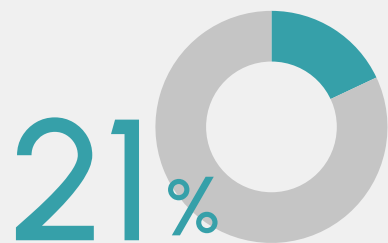


### 建築職に占める女性の割合

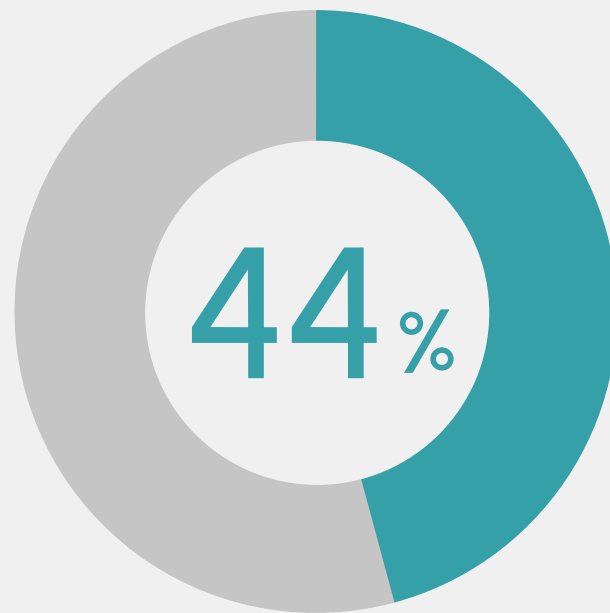
女性も活躍しています！

建築職に占める女性の割合は

年々増加しています！



建築職全体に占める女性の割合



20代建築職に占める女性の割合

### 建築職員の1日

勤務時間は午前8時30分から午後5時15分までが基本ですが、子育て中の職員などは時差出勤も可能です。そのほか、庁外からもアクセスできる業務システムの構築など、テレワークの推進にも力を入れています。

#### 工事監理を担当するAさんの場合



#### 時差出勤のBさんの場合

